



## 学習指導要領

- ・見方・考え方を働かせた資質・能力の育成
- ・主体的・対話的で深い学び

## 第7次福島県総合教育計画

- ・個別最適な学び・協働的な学び
- ・探究的な学び

## 児童の強み・地域の強み

- ・素直に、真面目に努力ができる
- ・温かい地域・家庭に支えられている
- ・地域には豊かな人材、自然、伝統文化がある

## 学校に対する思い

- ・友達と一緒に自分の力を発揮したい
- ・安全・安心な環境で学ばせたい
- ・地域のよさを生かした開かれた学校にしてほしい

## 田村市教育委員会

「未来を担う ひとづくり」

- 自主性、チャレンジ精神
- 粘り強さ、寛容さ
- 子どもの夢を叶える支援
- 子どもの夢を膨らませる支援

## 子どもの思いを大切にする教職員

- 子ども・保護者の思いを受け止め、ともに考える。
- 目指す児童像に向けて協働する。
- 子どもの努力と成長を認め支援する。



## 子どもをよりよく育む家庭・地域

- 生活のリズムを整える。（早寝・早起き・朝ご飯）
- 学校とともに子どもの自立を促す。
- 子どもの努力と成長を認め励ます。

## 教育目標

ともにたくましく学び続ける子どもの育成



## 自ら学び表現する子ども

- 話し手に耳を傾け、集中して話を聴くことができる。
- 「問い」と「見通し」をもち、探究的に学び続けることができる。
- 「根拠」を大切に、友達の考えと比べて考えることができる。

## しなやかで思いやりのある子ども

- 意見の違いを認め、互いの思いやりをもった合意形成ができる。
- 困難にぶつかっても途中であきらめずに、粘り強くやり抜くことができる。
- 地域の人、自然、文化と関わり、そのよさを感じ取るることができる。

## 心身ともに健康な子ども

- 自分の生活習慣のよさや課題を理解し、よりよく改善することができる。
- 個々の適切な目標を設定して努力を継続し、体力を高めることができる。
- 身の回りの危険や安全行動の大切さを知り、安全・安心な学校生活を送ることができる。

## 重点実践事項

## 共通実践 「聴く力・読みとる力・必要な情報を収集する力」の育成

## 1 お互いを認め合い、高い仲間意識の中での授業

- ・落ち着いた雰囲気のある学級集団
- ・仲間意識を高め、自己の学びへの改善
- ・互いの学びのよさを認め、深め合う学び

## 2 「問い」をもち、明確な「見通し」をもつことができる授業

- ・学びの原動力に直結する「問い」を引き出す導入
  - ・課題を解決するための明確な「見通し」
  - ・教科の見方・考え方を働かせ、育成する資質・能力の明確化
  - ・諸学力調査分析を基にした個への手立て
- 3 「根拠」を大切に、他を意識しながら自分の考えを深める授業
- ・自分の考えの根拠を大切に書いた書く・話す活動
  - ・新たな気づきや考えの深まりにつながる聞く活動
  - ・言葉の力を高める音読と読書活動

## 主な評価

## □児童・保護者アンケート

- 「授業が楽しい」 85%以上
- 「問いをもって学習」 80%以上
- 「見通しをもって学習」 80%以上
- 「わかる・できる実感」 85%以上
- 市学力調査市平均 + 1 ポイント
- 毎日の音読・読書
- 低学年15分 中・高学年20分 90%以上

## 1 仲間を大切にし、主体的に学校生活を送る集団活動

- ・一人一人の思いを大切に、互いの思いやりが深まる活動
- ・責任感や所属感が高まる児童会活動や係活動
- ・達成感や自己有用感を感じさせる評価

## 2 学校教育活動全体を通した道徳教育と授業の充実

- ・多様な考えから自己を見つめる学習活動の充実
- ・目標に向かって粘り強くやり抜く姿の賞賛と評価
- ・多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深める授業

## 3 地域の人、自然、文化と接する体験活動の充実

- ・地域人材を積極的に活用した体験活動やキャリア教育
- ・豊かな地域の自然環境を実感し、保全維持への活動
- ・地域のよさを知り、地域に関わる活動

## 主な評価

## □児童・保護者アンケート

- 「学校は楽しい」 90%以上
- 「粘り強くやり抜こうとする」 85%以上
- 「違いやよさを認める」 90%以上
- 「自分のよさがわかる」 75%以上
- 自己を見つめる道徳ノートを活用
- 地域のよさを知る活動（各学年）

## 1 自己マネジメント力の育成

- ・自らの生活・健康課題の理解と改善
- ・発達段階に応じた情報モラルの育成
- ・家庭・地域と連携した実践

## 2 体育科授業の充実と運動の日常化

- ・個々の適切な目標を基にした運動量の確保
- ・朝マラソン・朝なわとびによる運動習慣の形成
- ・跳躍力と持久力の向上に重点化した、運動身体づくりプログラム推進

## 3 安全・安心な学校環境の充実

- ・話し手が伝えたいことに耳を傾け、話を聴く規律
- ・身のまわりの危険と安全な行動への理解
- ・不安や悩みを相談できる体制

## 主な評価

## □児童・保護者アンケート

- 「運動は楽しい」 90%以上
- 「危険の理解、回避行動」 85%以上
- 「悩みを相談できる」 75%以上
- 「健康課題の理解と改善への努力」 85%以上
- 「みやまっ子ノート」「自分手帳」の活用
- 朝マラソン・なわとび実施 100%
- 体力テスト
- 跳躍力、持久力で全国平均値まで向上
- う歯ゼロまたは治療完了率 90%以上

## みやまっ子 資質・能力育成プランにおける 短期重点目標

| 4・5月<br>出会いとやさしさ | 6・7月<br>学びと向上         | 8・9月<br>深め合い高め合う | 10・11月<br>まとめる 伝える 表現する | 12・1月<br>資質・能力の向上       | 2・3月<br>ありがとうとゆめづくり  |
|------------------|-----------------------|------------------|-------------------------|-------------------------|----------------------|
| 互いを知る・思いやる       | 規則を守る・健康に生活する・よさを発揮する | めあてをもって学ぶ・運動する   | 互いのよさを認め合い、高め合う         | めあてをもって学ぶ・運動する（粘り強く高める） | ふりかえり見通しをもつ感謝の気持ちをもつ |